

特集：豊中みどりの交流会2009

小学生ワークショップ概要「みどりのカーテンづくりを通して」

コーディネーター 醍醐氏による講演

◎「コンクリート」から「人」へ

これからは新しい公共物を造っていくことは難しい時代になってきている。国も地方公共団体も今まで造ってきた公共施設を維持・管理する時代になってきた。

◎「みどり豊かなまち」とは？

これまではまちに「みどりの量を増やす」こと、市民一人あたりの公園の面積を増やすことだった。しかし、これから人口が減少していく時代では、当然人口一人あたりの公園の面積は増えていく。最近では、公園を造るというよりも、みどりをどう利用していくかがテーマになってきた。今ある物を市民一人ひとりが、どう使いこなしていくか、そんな時代になってきた。今後は、市民一人ひとりがまちのみどりを使いこなすという視点に立って、使い方、楽しみ方を次世代へどうやってつないでいくかが課題に。地域の子どもたちに、小学校、中学校、幼稚園などと手をつないで、どうみどりを伝えていくのか。どう継承していくかについて考える必要がある。

◎楽しさ・気付き・感動を大事にしたい

最近、子どもたちが外に出ない、外で遊ばないと言われている。これまで公園を造ることばかり考えて、使い方は考えてこなかったという反省が我々にはある。次世代に「みどりの楽しみ方」を伝えることが大事である。

小学生ワークショップ

醍醐：みどりとの関わりを考える上で、小学生の皆さんが「楽しむこと」は非常に大事。また、「気付いたこと」「感動したこと」や、「苦労したこと、大変だったこと」などもあれば話してください。



小学生：ゴーヤが緑から黄色になることは知らなかったし、ゴーヤにも花があるなんて知らなかった。水遣りが大変だった。理科のことがすごく楽しくなったり、色んなふうにゴーヤのお陰で得意なことが増えた。夏頃になるとすごく毎日伸びているのが目に見えるくらい分かったので感動

醍醐：私が今回の取り組みで大事だと感じたことは、小学校で児童の皆さんが何を楽しんで何に感動したかということ。家庭に持ち帰ったという話もあるが、地域あるいは家庭とのつながりが生まれるためには、児童の皆さんが楽しかったとか、気付いたんだよとか、感動したんだよとか、そこが大事だということをすごく感じた。

交流会：「豊中市に花とみどりを増やしましょう」という中で、こんなかわいらしい後継者ができたということで、大変嬉しく思っている。あなた方の体

なので、大事に育てていってほしいと思う。

醍醐：小学校の発表の中で気付いたことがある。共通したキーワードが出てきた。「イリエサン」という言葉。これはすごく面白いし良いことだと感じた。地域の方の名前を固有名詞で児童の皆さんが気さくに「ありがとう」と感謝の気持ちを込めて名前を呼ぶ。そういうことは最近難しい時代になっている。小学校の安全性とか言われる世の中で、地域のおじちゃんの名前を挙げて、素直に「ありがとう」と言える関係というのは、この取り組みを通じて生まれている。本当に基本的なことだが、すごく大事なことだと思う。

先生：みどりの交流会の方々が来られて植え付けをした日に「ゴーヤがたくさん生るからね」と言われて子どもたちが目を輝かせてすごく楽しみにしていたことを覚えている。地域の方々の協力もいただいているんだなということに改めて感じた。

交流会：ご近所のコミュニケーション、人の輪を大事にしたい。やさしい気持ちで花に接するように人の和をどんどん広げていきたいと思っている。

醍醐：地域のみどりや公園をこれからは市民一人一人が使いこなしていく。量も重要だが、それだけでは地域の人たちの幸せにはつながらない。増えたみどりをどう使いこなしていくかということがこれからは問われていく時代だと思う。今回小学生、市民活動の地道な取り組みで、みどり豊かなまちづくりになっていくのかなと思う。

●醍醐 孝典 さん(株式会社 studio-L)

昭和51年生まれ。大阪府立大学大学院農学生命科学研究科修了。兵庫県農林水産部、京都市景観・まちづくりセンターを経て、平成18年より株式会社 studio-L 勤務。「まち」や「公園」、「緑」などテーマとしたワークショップに数多く携わっている。「水都大阪2009」では小学生を対象に、中之島公園に展示するアート作品の制作ワークショップを展開している。



大池小学校感想文



最初、体育館の舞台の上に立って発表するなんて、少しも思っていなかったです。突然だったから、一気に体が固まりました。

私は、植物が好きです。中でも、ゴーヤのように、つるがあるのは、おもしろくて好きです。

「みどりのカーテンづくり」の発表は、緊張しましたが、みんなと一緒に発表して、多くの人々に私たちの活動を知ってもらうのは、とても楽しかったです。本番は、短い時間ですべてを話すというのは少し難しかったけれど、多くの人々にゴーヤのこと、私たちの活動のことを知ってもらえてすごくうれしかったです。また、このようなことがあれば、ずっとやりたいし、ゴーヤのこの活動をもっと多くの人に知ってもらいたいです。

蛭池小学校感想文

・ゴーヤがおもしろかったから発表したいと思いました。発表のときは、ちよつと緊張したけど楽しかった。お母さんも笑っていました。フォーラムに出てよかったと思えました。

・お客さんの前でやるのが、ちよつとはずかしかったけど、ちゃんとできました。終わってから花の苗ももらいました。輪投げをつくってもらい、下の部分は自分で竹を切ったり形を作ったりしました。面白かったです。



・発表は緊張したけどうまく言えました。終わってから花の苗ももらいました。輪投げをつくってもらい、下の部分は自分で竹を切ったり形を作ったりしました。面白かったです。



これらのパネルは環境展にも出展しました



庄内西小学校感想文

・水やりをがんばりました。りっぱなゴーヤになるようにお願ひしました。
・学校にきて朝顔に水やりをやった後、ゴーヤにも水をやりました。
・大きくなって、きれいでした。
・つるがめっちゃのびて、うれしかったです。でかいゴーヤができました。



昨年カーテンまでいかず。今年反省を生かし、一年生が水遣りがんばり大成功。チャンプルー他、色々なメニューでおいしく食べました。(カレー・ハンバーグ・サラダ・スパゲティ...) 涼しくて、ごちそうさま!

西丘小学校感想文

私たちは「みどりのフォーラム」でゴーヤを育ててみどりのカーテンを作ったことについて発表しました。毎日、水やりをして大きなカーテンができるようになってきたことや教室が涼しくなったことや一番伝えたいです。知らない人の前で発表するのでも緊張しただけほかの学校の人たちが発表しているのを見ると私たちがもしっかりがんばろうと思えました。自分たちと違う取り組みの発表を聞いてすごいと思いました。最後にお花をもらったり、竹細工の植木鉢を作ってもらったりしました。もらったお花は今すぐ育てています。

